

令和2年度
北広島市保健福祉計画検討委員会
第5回 障がい福祉部会

日時：令和2年11月10日（火） 18時30分～19時00分

場所：北広島市役所 3階 会議室3D

◇北広島市保健福祉計画検討委員会委員

出席者：松坂委員（部会長）、米沢委員、若狭委員、西野委員、
森委員、近藤委員

欠席者：加藤委員、奥田委員

◇事務局

鈴木福祉課長、柄澤高齢者・障がい者相談担当参事、濱田子ども発達支援
センター長、五十嵐高齢者・障がい者相談担当主査、高屋子ども発達支援
センター主査、播磨子ども発達支援センター主査、阿部子ども発達支援
センター主査、片山福祉課主任

◇傍聴者：1名

《議事概要》

1 開会

2 審議事項

事務局：北広島市障がい支援計画【令和3年度～令和5年度】（素案）について、資料をもとに説明。

委員：現行計画中には、災害や新型コロナウイルスの影響もあったかと思う。地域福祉計画との整合性を保つ必要があるかと思うが、本計画に盛り込む予定はあるか。

事務局：資料 70 ページ「基本目標 7 災害に備えた避難体制等の確保・感染症対策に係る体制整備」という記載をしており、感染症対策は今回新しく加えたもの。

委員：災害関連のアンケート結果ではどのような回答があったか。

事務局：アンケート調査報告書に記載のとおり災害時の避難などについて回答を記載している。具体的には、1人で避難できるかどうか、避難時に近所に援助してくれる人の有無等の設問を設定し、災害時に希望する不安の解消に関する事、災害時の困り事、避難所生活で困ることについて等、様々な意見をいただいている。

委員：89ページの災害対策についてイメージができないので、説明いただきたい。避難行動要支援者の避難支援については、名簿を作成し、関係機関と共有するというイメージなのか。

事務局：名簿については、重度障がい者や避難時に支援が必要な人を対象に市で名簿を作成している。本人の同意を得た上、自治会や町内会、民生委員等の関係機関に配布するが、個人情報取り扱いという点もあり、自治会や町内会によっては、名簿の受け取りに二の足を踏む団体もある。

委員：実際に、一人で避難できない人の人数はどの程度いるのか？

事務局：家族が対応できるかどうかという点もあり、災害種別によって支援の内容も変わるので、対象者の状況はケースバイケース。対象者数については、障がい者だけでなく、高齢者やその他申出者もいることから、具体的な人数は申し上げられない。

(異議なし、承認)

3 その他

事務局：今後のスケジュールは、11月26日に第6回障がい福祉部会を開催し、部会終了後に全体会を予定。計画素案の確定を考えている。来年1月までにパブリックコメントを行い、3月に計画決定。

(異議なし、承認)

4 閉会